

Schola Cantorum

ヘンデル《メサイア》
合唱団スコラ・カントールム 第8回特別演奏会

G. F.ヘンデル メサイア HWV56
GEORG FRIEDRICH HÄNDEL MESSIAH HWV56

MESSIAH

ヘンデル・バッハ・スカルラッティ生誕333年記念祭 参加公演

合唱団スコラ・カントールム
指揮：野中 裕

2018年10月21日(日)

開場 14:30 開演 15:00

上野学園 石橋メモリアルホール

全席自由 3,000円

333
HBS

333 Years of Handel, Bach & Scarlatti
www.hbs-333.com

お問い合わせ：042-351-0716 (野中) h-nonaka@yc4.so-net.ne.jp

スコラ・カントールム ホームページ <http://www004.upp.so-net.ne.jp/h-nonaka/schola/index.html>

■ 客演

ソプラノ	朴 瑛実
アルト	穴澤 ゆう子
テノール	大貫 浩史 小沼 俊太郎
バス	西久保 孝弘 松井 永太郎
ヴァイオリン	大西 律子 (コンサートマスター) 小池 吾郎 高橋 真二 関口 敦子
ヴィオラ	上田 美佐子 春木 英恵
オーボエⅠ	森 綾香
オーボエⅡ	小野 智子
トランペットⅠ	斎藤 秀範
トランペットⅡ	永井 友貴
ティンパニ	久保 創
チェロ	十代田 光子
コントラバス	櫻井 茂
オルガン	今井 奈緒子
チェンバロ	平野 智美



■ 野中 裕 (指揮)

早稲田大学第一文学部卒業、放送大学研究生(音楽学)修了。東京都立高等学校教諭を務めるかたわら、1990年に「合唱団スコラ・カントールム」を結成、その指揮と運営にあたる。声楽を大滝雄志、ピアノを渡邊由美子、オルガンを佐藤礼子、音楽学を故笠原潔の各氏に師事。指揮・歌手活動のほか執筆活動等もさかんで、ICU 宗教音楽センター公開講演会などの講師を務めるほか、CD 解説や演奏会プログラムなど執筆多数。論文に「ヨハン・バッハ研究」、著書に『バッハ=カンタータの世界』(東京書籍、共訳)、『バッハ問』(東京書籍、共著)、『カール・リヒター論』(春秋社、単著)などがある。現在、音楽史研究会(今谷和徳・上尾信也主宰)事務局、日本音楽学会・西洋中世学会・日本オルガン研究会会員。

■ 合唱団スコラ・カントールム

1990年、少人数の精緻なヴォーカル・アンサンブルを目指して活動を開始。団員は合唱歴の長い社会人と学生からなり、プロの歌手も参加している。ルネサンス・バロック期の宗教音楽を主なレパートリーとし、日本を代表する古楽オーケストラ・メンバーとの共演をさかんに行う。1998年に「栃木「蔵の街」音楽祭」に招聘されたのを皮切りに、2002年にレザール・フロリサン音楽監督のウィリアム・クリスティ氏による合唱公開マスタークラスの受講団体、2007年には「北とぴあ国際音楽祭」の参加団体に選ばれる。2016年には、2010年に続いて「国際基督教大学クリスマス演奏会」に出演するなど、外部からの演奏依頼も年々増え、活動の幅をさらに広げている。

ヘンデル《メサイア》 合唱団スコラ・カントールム 第8回特別演奏会

2018年10月21日(日)

開場 14:30 開演 15:00

上野学園 石橋メモリアルホール

※ JR 上野駅 3F 入谷改札を出て左折
入谷口より徒歩 8分

※ 東京メトロ日比谷線/銀座線

